

## 理科

科目名			
科学と人間生活			
履修条件			
・特になし			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2		0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	
<p><b>【紹介】</b>            中学校理科で学習した内容を基礎として、自然に対する理解や科学技術の発展がこれまで私たちの日常生活や社会にいかに関与を与え、どのような役割を果たしてきたかについて、身近な事物・現象に関する観察、実験などを中心にして学びます。            身の回りの事象から地球規模の環境について学んでいくことで、環境問題やエネルギー問題といった地球規模での課題に対して考える力を身につけていきます。</p>			
<p><b>【履修上の注意】</b>            ・2年次「科学と人間生活、物理基礎のうち1科目」の必修選択科目です。            ・理系（特に理工学系）進学希望者は受験科目に注意して履修してください。            ・この科目は、実験・実習を行う際にペアワーク、またはグループワークを行います。</p>			

科目名			
物理基礎（必修）			
履修条件			
・特になし			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2		0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①
<p><b>【紹介】</b>            自然界にある原理・法則を探究するという物理学の基礎・基本を学びます。物体の運動とエネルギー、様々な物理現象とエネルギーの利用をときには実験を行いながら、講義・問題演習を中心に学びます。            身近な物理現象を数式を用いて表現できるようになります。物理に興味があり、将来、工学系専門学校および大学の理系（工学部など）に進学を考えている人にお勧めです。            自然現象を数式を使って理解する学問なので、数学の知識が必要です。</p>			
<p><b>【履修上の注意】</b>            ・2年次「科学と人間生活、物理基礎のうち1科目」の必修選択科目です。            ・物理基礎を選択すると、同時に生物基礎も選択することになります。            ・数学Ⅱ、数学Bを同時履修していることが望ましいです。            ・この科目は、実験・実習を行う際にペアワーク、またはグループワークを行います。</p>			

## 理科

科目名			
生物基礎（必修）			
履修条件			
・物理基礎を選択した場合は必須。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2		0円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○	×	×	①③
<p><b>【紹介】</b>            生物における共通性と多様性に着目し、「細胞」、「遺伝子」、「体内環境」といった内容から理解を深めていきます。その後、生態系における生物と環境の関係について学び、理解も深めていきます。日頃の生活でおこる生物学的現象を解き明かす力が身に付きます。            生物を対象とした学問である「生物学」の基礎科目です。将来理学部の生物学科や農学部、医療福祉系に進学や就職を考えている場合必要な知識を得ることができます。とくにこれらの学部、専門学校に進学を希望する人は3年次に開講する「生物」の履修を勧めます。</p>			
<p><b>【履修上の注意】</b>            ・2年次「物理基礎」を選択した場合は、必ず履修してください。            ・選択科目の「生物基礎（選択）」と同一科目です。            ・1年次「日本語A」の選択者については、3年次で履修することも出来ます。            ・この科目は、実験・実習を行う際にペアワーク、またはグループワークを行います。</p>			